



秋竹小 学校だより

第101号 平成26年4月8日

青空の戻つてをりぬチューリップ

## 新しい風に包まれて

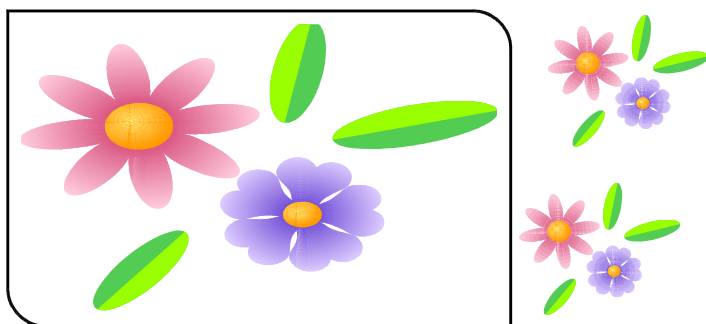


雨の3月20日に、38名の卒業生を送り出し、昨日、入学式において18名の新しいなかまを迎えました。1名の転入生を加えて、平成26年度は、148名のなかまで出発です。中庭の桜が満開の中、チューリップやパンジーも子どもたちの出発を彩ってくれています。

さて、入学式では、宮原校長より1年生の子どもたちに向けて「あいさつをしっかりとしましょう」というお話がありました。また、「学校と家庭とが連携して子育てをするために『約束や決まりを守る・自分や周りの人を大切にする・あいさつをしっかりとする』ことを、家庭においても大切にして欲しい」とお話されました。

前日準備から大活躍の6年生は、1年生のお世話はもちろんのこと、在校生の代表として入学式に出席しているという意識をもち、立派な姿勢で式に参加することができました。児童会長の平松さんの「歓迎の言葉」を聞きながら、改めて秋竹小学校のよさを教職員も確認することができたように思います。6年生の子どもたちは最後まできびきびと動き、体育館の片づけもしっかりと行いました。

さて、平成26年度のスタートです。子どもたち一人一人が、キラキラと瞳を輝かせて、楽しい学校生活を送ることができるよう、精一杯頑張りますので、秋竹小学校の教育活動に、ご理解ご支援をよろしく願いいたします。



### 平成26年度 秋竹小学校教職員オールスタッフ

校長	宮原 康寿	教 頭	加藤 ひろ美	教務主任	加藤 鋭之
校務主任・ひまわり	齋藤 由紀代	1年1組	小神 敏子	2年1組	服部 蓉子
3年1組	古川 幸恵	4年1組	渡邊 一弘	5年1組	木下 千秋
6年1組	大藤 純子	わかたけ	牛田 洋美	音 楽	後藤 ゆかり
初任者指導	邨 瀬 猛	養護教諭	伊藤 まゆみ	ALT	キース・リチャードソン
主 事	川本 雅大	スクールポーター	城 恭子	スクールポーター	杉浦 千尋
スクールポーター	渡辺 美佳	用 務 員	丹羽 ゆかり	配 膳 員	松波 真由美

## 秋竹小へようこそ

湯澤校長先生はじめ4名の先生方とお別れしましたが、新しく5名の先生が秋竹小へ赴任し、職員室にも、新しい風が吹き始めています。



宮原 康寿 校長先生 (海部教育事務所より)  
齋藤 由紀代 先生 (甚目寺東小学校より)  
古川 幸恵 先生 (甚目寺南小学校より)  
邨瀬 猛 先生 (弥富北中学校より)  
服部 蓉子 先生 (新任)

## お知らせします

### <懇談会中の児童の対応について>

4月と3月(3学期)の学級懇談会の折に、低学年児童(1~3年生)に限って、学校でお預かりすることになりました。一斉下校から、懇談会終了時刻まで、図書室においてお預かりします。事前に連絡帳でお申し出ください。

なお、高学年児童につきましては、けが等の緊急事態に対応する職員がいないため、その時間は運動場で遊ぶことのないよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 秋竹小を去られた先生方より

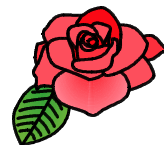
湯澤 裕幸校長先生 (あま市教育委員会へ)

『七宝つなぎにスクラムくん』

ありがとうございました。目をつぶると、児童と触れ合った一瞬一瞬がまぶたの奥によみがえります。たった2年間でしたがとても充実した日々をおくらせてもらいました。毎朝校門で児童とかわす挨拶は確実に一日の元気を与えてくれました。「おはようございます」の一人一人の声は私の脳裏に焼きついています。

秋竹小学校の中心は間違いなく「なかま」です。すべてが「なかま」の温かさを基点として動いていました。現代の学校が抱えるいろいろな問題は、奇跡のようですが、秋竹小ではまず起きません。それは、誰にとっても居心地のよい学校だからです。皆(児童のみならず保護者も教員も)が支え合い高めあっているからです。

これからも秋竹小学校の職員だったことを誇りにし、見守り続けることを約束します。本当にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。



山田 和美先生 (弥富市立弥富中学校へ)

季節が巡り、また、桜の咲く頃となりました。初めての小学校勤務と言うことで、不安でいっぱいの中、秋竹小学校に赴任しました。しかし、かわいい子どもたちに囲まれ、地域の皆様に見守られ、チームワークの良い職員に支えられ、とても楽しく過ごすことができました。たった2年間でしたが、初めてのことばかりで、沢山の思い出ができました。とりわけ心に残っているのは「なかま活動」です。6年生が中心となって異年齢集団を引っ張り、リーダーとして活躍している姿はとても頼もしく立派でした。日頃、教室で見る姿は、12歳らしい幼さなのですが、なかま活動で見せる姿はリーダーとして責任ある立場のそれに変わります。秋竹の長い歴史と伝統に裏付けられた活動で、大きく成長していくのだと感心しました。また、1年生に入学してきた小さな子どもたちが、6年間かけて大きく成長していく姿を目の当たりにして、「(こうやって中学校に入ってくるんだ)」と実感しました。

再び、中学校勤務となりますが、この2年間の貴重な経験を生かし、頑張っていきたいと思えます。お世話になりました。ありがとうございました。

横江 光利先生 (愛西市立北河田小学校へ)

秋竹小学校のはじめの印象は、「進んでよく働く子どもたち」というものでした。広い校舎をとっても少ない人数で掃除をしなければならないので、一人一人頑張って掃除に取り組んでいました。当たり前前のことを当たり前前にできることが受け継がれている、そんな学校でした。これからも良い伝統を大切にしてください。3年間、お世話になりました。



浅野 恵子先生 (大治町立大治小学校へ)

秋竹の子どもたちが、なかまの班で楽しそうに活動している姿や中庭で元気いっぱい鬼ごっこなどをして遊んでいる姿を見るのが大好きでした。4月からは、秋竹の子の元気な声を聞くことができないうと思ってしまうのですが、転任先の大治小学校で楽しく過ごせるように頑張っていきたいと思えます。

